

東北海区沿岸水温予報(2023年)

海域	経過 (4～6月)	現況(7月上旬～ 7月中旬)	見通し (8～9月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:4月、5月、6月とも、やや高め～極めて高めで推移した。</p> <p>・6月の津軽暖流の各層水温は0m層、50m層、100m層の各層で「かなり高め」、水塊深度は「極めて深め」、津軽暖流の張り出しは「平年並み」であった(太平洋海洋観測結果)。</p>	<p>・定地水温は高めで推移。</p>	<p>・津軽暖流域の水温は高めで推移する。</p>	<p>・FRA-ROMSによると、8月は各層とも高め基調の予測となっている。</p> <p>・6月の海洋観測結果では津軽暖流の張り出しは平年並みの傾向が見られた。</p>	<p>特になし。</p>
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>4月：4/10～4/18 ≪表面水温≫ 10海里以内は7～9℃台であり、黒埼、トドヶ埼、定線で「平年並」～「やや高い」、尾埼、樺島定線で「やや高い」となった。 尾埼定線の20海里は15℃台であり、「極めて高い」となった。また、樺島定線の20海里は8℃台、30海里は14℃台であり、それぞれ「平年並」、「極めて高い」となった。</p> <p>≪100m深水温≫ 10海里以内は7～9℃台であり、黒埼、トドヶ埼、定線で「平年並」～「やや高い」、尾埼定線で「平年並」、樺島定線で「やや高い」となった。 尾埼定線の20海里は11℃台であり、「高い」、樺島定線の20海里は7℃台、30海里は10℃台であり、それぞれ「平年並」、「高い」となった。</p> <p>5月：5/16～5/19 ≪表面水温≫ 10海里以内は9～12℃台であり、黒埼定線で「高い」～「極めて高い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「高い」、尾埼定線で「平年並」～「やや高い」、樺島定線で「やや高い」となった。 20～50海里は9～20℃台であり、黒埼定線で「やや高い」～「高い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「やや高い」、尾埼定線と樺島定線で「平年並」～「極めて高い」となった。</p> <p>≪100m深水温≫ 10海里以内は6～10℃台であり、黒埼定線で「やや高い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「やや高い」、尾埼定線で「やや高い」～「高い」、樺島定線で「やや高い」となった。 20～50海里は3～13℃台であり、黒埼定線で「平年並」、トドヶ埼定線で「やや低い」～「平年並」、尾埼定線で「平年並」、樺島定線で「やや高い」～「極めて高い」となった。</p> <p>6月：6/14～6/15 ≪表面水温≫ 10海里以内は14～17℃台であり、黒埼定線で「高い」～「極めて高い」、トドヶ埼定線で「やや高い」～「極めて高い」、尾埼定線で「高い」～「極めて高い」、樺島定線で「やや高い」～「極めて高い」となった。 20～50海里は15～20℃台であり、黒埼定線で「極めて高い」、トドヶ埼定線で「や</p>	<p>7月：7/3～7/5 ≪表面水温≫ 10海里以内は18～19℃台であり、黒埼、トドヶ埼、尾埼定線で「やや高い」～「高い」、樺島定線で「やや高い」となった。 20～50海里は18～23℃台であり、黒埼定線で「やや高い」～「高い」、トドヶ埼定線で「高い」～「極めて高い」、尾埼定線で「極めて高い」、樺島定線で「平年並」～「高い」となった。</p> <p>≪100m深水温≫ 10海里以内は8～13℃台であり、黒埼定線で「やや低い」～「高い」、トドヶ埼定線で「やや高い」～「高い」、尾埼定線で「平年並」～「やや高い」、樺島定線で「やや高い」となった。 20～50海里は6～14℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「やや高い」、トドヶ埼、尾埼定線で「高い」～「極めて高い」、樺島定線で「やや高い」～「極めて高い」となった。</p>	<p>8月の100m深水温の平年値は、沿岸10海里以内は8～12℃台、10海里以東は5～9℃台。黒埼、尾埼、樺島の沿岸10海里以内で「平年並み」のほかは、「やや高い」～「高い」と予測された。 各0海里定点における10m深水温の予測値は19℃台であり、全ての定点で「やや高い」と予測された。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>6月以降、黒潮続流の北端は、黒埼沖(40°N、145°E)にある。</p>

	<p>や高い」～「極めて高い」、尾埼定線で「高い」～「極めて高い」、椿島定線で「やや高い」～「極めて高い」となった。</p> <p>《100m深水温》 10海里以内は7～11℃台であり、黒埼、トドヶ埼、尾埼定線で「平年並」～「やや高い」、椿島定線で「やや高い」となった。 20～50海里は2～14℃台であり、黒埼定線で「平年並」、トドヶ埼、尾埼定線で「やや低い」～「極めて高い」、椿島定線で「やや低い」～「高い」となった。</p>				
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>【4月】 宮城県沿岸の表面水温および100m深水温で9～18℃台となっています。また、平年水温と比べ、表層および100m深水温で2～9℃高く、3月に続き38° N, 142° E以東付近で最大9℃と高い傾向。</p> <p>【5月】 宮城県沿岸の表面水温および100m深水温で10～20℃台となっています。また、平年水温と比べ、表層および100m深水温で1～11℃高く、4月に続き38° N, 142° E以東付近の表層で最大9℃、100m深水温では最大11℃高い傾向。</p> <p>【6月】 宮城県沿岸の表面水温および100m深水温で17～23℃台となっています。また、平年水温と比べ、表層および100m深水温で2～10℃高く、5月に続き38° N, 142° E以東付近の表層で最大8℃、100m深水温では最大10℃高い傾向。</p>	黒潮統流からなる暖水の影響により、宮城県沿岸の表面水温および100m深水温で11～26℃台となっています。また、平年水温と比べ、表層および100m深水温で2～11℃高く、6月に続き38° N, 142° E以東付近の表層で最大6℃、100m深水温では最大11℃高い傾向。	平年並み～極めて高く、全体的に高めで推移する見込み。	偏差持続、自己回帰係数固定モデルによる。 FRA-ROMS参照。 気象庁各種データ・資料 東北周辺、関東・東海・北陸 周辺海域100m水温参照。	黒潮統流(26～25℃台)は、房総～日立・鹿島～常磐～三陸南部～三陸北部沖合を北上。房総～三陸南部沿岸に暖水(24～20℃台)が波及するとともに、三陸南部～三陸北部、日立・鹿島沿岸には冷水渦が形成。 (一社)漁業情報サービスセンター表面水温7/13)。
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)	<p>100m深水温</p> <p>【4月】 北部海域は「極めて高い」 中部海域は「極めて高い」 南部海域は「極めて高い」 黒潮統流(200m深14℃以上)は塩屋埼定線(南部海域)の距岸50海里、富岡定線(中部海域)の距岸60海里に確認された。</p> <p>【5月】 北部海域は「高い」 中部海域は「高い」 南部海域は「高い」 黒潮統流は塩屋埼定線・富岡定線の距岸60海里、鶴ノ尾定線(北部海域)の距岸70海里に確認された。</p> <p>【6月】 北部海域は「やや高い」 中部海域は「極めて高い」 南部海域は「高い」 黒潮統流は塩屋埼定線・富岡定線の距岸50海里に確認された。</p> <p>※北部:37° 50'N 中部:37° 25'N 南部:37° 00'N</p>	<p>【7月】 北部海域は「やや高い」 中部海域は「高い」 南部海域は「高い」 黒潮統流は塩屋埼定線の距岸50海里、富岡定線の距岸60海里、鶴ノ尾定線の距岸70海里に確認された。</p>	<p>【8月】 「高い」～「極めて高い」 【9月】 「やや高い」～「高い」</p>	<p>FRA-ROMS IIの予測によると、8月の福島県海域142° 00'E以西における100m深水温は、平年差+1℃～+5℃の領域が大半を占めており、「高い」～「極めて高い」に相当している。 気象庁の「海面水温・海流1か月予報」(令和5年7月20日発表、対象期間7月21日～8月20日)によると、本州東方の海面水温は「平年よりかなり高い」とされている。 9月のFRA-ROMS IIの予測(100m深)によると、黒潮統流の北限位置がやや南下するものの、平年と比較し黒潮系暖水が波及していることから、水温の高い状態が継続すると思われる。</p>	【海況】距岸50海里付近への黒潮統流の波及が令和4年7月から令和5年7月までの13か月間で9回観測された。これは、1968年以降で頻度が最大であった。その結果、水温の高め基調が継続している。
常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)	<p>【4月】 黒潮からの暖水波及の影響で、0m深では概ね「やや高め～高め」、50m以深では141° E～141° 30' Eで概ね「平年並～やや高め」、他で「やや高め～極めて高め」となった。</p> <p>【5月】 前月と比較すると、黒潮の離岸に伴い暖水波及の影響が弱まったものの、0m深では概ね「平年並～やや高め」、50m以深では「平年並～高め」と高め傾向が継続した。</p>	水温は0m深で21～25℃台、50m深で14～24℃台、100m深で11～21℃台、200m深で8～17℃台となった。 前月と比較すると、0m深では黒潮からの反流と日射の影響により全域で昇温傾向となった。50m以深でも、黒潮の影響により概ね昇温傾向となった。 平年と比較すると、0m深で	0m深水温は、気温の上昇と黒潮からの暖水により「やや高め～高め」となる見込み。50m以深の水温は、黒潮による影響で「平年並～高め」(黒潮本流が流れる本県沖合域では「高め～極めて高め」)で推移する見込み。	FRA-ROMS IIによる。	・イセエビ:例年、抱卵個体が7月中旬頃から出現するが、今年は6月から出現していた。 ・サバ類:北部まき網の水揚量が1～6月で約8,500トン(前年比

	<p>【6月】 前月と同様の状況が続き、141° 30'E以東では黒潮の影響により全層で昇温傾向となった。0m深では概ね「平年並～高め」、50m以深では「平年並～極めて高め」となった。</p>	<p>は「平年並～高め」、50m以深では「平年並～極めて高め」となった。</p>			<p>25%、過去5年平均比13%)と非常に少なかった。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------	--	--	----------------------------------

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.3℃～	+3.8℃～	+6.1℃～	+5.8℃～	+4.9℃～	+6.1℃～
高い (7.5%)	+2.2～+3.2℃	+2.4～+3.7℃	+3.9～+6.0℃	+3.8～+5.7℃	+3.2～+4.8℃	+4.0～+6.0℃
やや高い (20%)	+0.9～+2.1℃	+1.0～+2.3℃	+1.6～+3.8℃	+1.5～+3.7℃	+1.3～+3.1℃	+1.6～+3.9℃
平年並 (40%)	+0.8～-0.8℃	+0.9～-0.9℃	+1.5～-1.5℃	+1.4～-1.4℃	+1.2～-1.2℃	+1.5～-1.5℃
やや低い (20%)	-0.9～-2.1℃	-1.0～-2.3℃	-1.6～-3.8℃	-1.5～-3.7℃	-1.3～-3.1℃	-1.6～-3.9℃
低い (7.5%)	-2.2～-3.2℃	-2.4～-3.7℃	-3.9～-6.0℃	-3.8～-5.7℃	-3.2～-4.8℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.3℃～	-3.8℃～	-6.1℃～	-5.8℃～	-4.9℃～	-6.1℃～

1991年1月～2020年12月の100m深度の観測水温を基に階級区分している